

令和5年度 前橋市児童文化センター第1回運営委員会 議事録

○開催日時 令和5年6月30日（水） 15時00分～16時50分

○出席者（24名）

・運営委員（11名参加）

西薗委員 荒井委員 手島委員 渡邊委員 大島委員 林委員

間々田委員 岡田委員 天宮委員 小林委員 春山委員

・教育委員会及び関係課

吉川教育長 金井指導担当次長 木村教育施設課長

金子公園管理事務所長 佐藤生涯学習課長（代理として阿久津課長補佐） 内山教育支援課長

（司会）内山教育支援課長

・職員

金井館長 本川課長補佐 吉澤課長補佐 飯塚指導主事 佐藤副主幹

井上主任 小林指導主事（記録）

○欠席者

・運営委員（3名）

関委員 田口委員 小暮委員

・教育委員会及び関係課（1名）

田村学校教育課長

○議事

（1）報告及び協議

①令和4年度事業実績について

②令和5年度事業概要について

③令和5年度の運営について

（2）その他（意見交換）

○内容

1. 開会

新委員の紹介

大島委員・林委員・間々田委員・関委員（本日欠席）

2. あいさつ（吉川教育長）

本日はお忙しい中、また蒸す暑い中お集まりいただきましてありがとうございます。教育長の吉川でございます。令和5年度第1回前橋市児童文化センター運営委員会開催にあたり、ご挨拶申し上げます。5月8日にコロナウイルス感染症の位置づけが5類へと移行し、社会も学校の様子も大きく変わっています。夏はコロナウイルスだけではなく、ロタウイルスなどの感染拡大の心配もあると聞き及んでおります。またインフルエンザの拡大も気になるところです。基本的な感染症対策は継続しながらも子ども達はようやく3年ほど続きましたマスク着用の日常から、濃厚接触などの不安からも解放されて、本来への活動が戻ってきているように思われます。

児童文化センターの各事業では、昨年度後半まで多くが通常に近い形で実施をされてきましたが、コロナに対応した施設利用のガイドラインを廃止いたしまして、プラネタリウムも制限をなくし、通常定員の100名へと、子ども達が工作を体験するわくわくチャレンジコーナーはコロナ前同様に受

け付け、受け入れ人数を増やしていると聞いております。運営も本格的に再稼働しております。また、施設といたしましても、今年度はプラネタリウムのプロジェクターの入れ替え、広範囲の外壁補修など、大掛かりな作業が予定をされ、新しく見えますが建設からの時間の経過とともにさらに計画性や継続性のある管理が必要であると感じているところです。

6月23日から、本市の将来都市像、新しい価値の創造都市前橋実現のためのタウンミーティングが開催されました。市民の皆さんと市幹部との意見交換が第7次前橋市総合計画の改定、まちづくりの基礎資料となります。コロナの経験を経て、より一層心を豊かに、そして人をはぐくむ前橋市となるよう市全体で十分に検討を進めていく必要があります。

組織の改編によりまして、児童文化センターも教育支援課、以前は青少年課でしたが、教育支援課の所管として約3か月がたちましたが、総合計画や教育基本計画などの下で多くの体験と成長を与える、よりよい施設となるためにも、委員の皆様に今年度も引き続き活発に意見交換をいただきまして、知見を生かしたご意見とご協力を賜れれば幸いでございます。最後に本日お集まりくださいました皆様に重ねて御礼を申し上げましてあいさつといたします。どうぞ本日はよろしくお願ひいたします。

3. 報告及び協議（進行：西薦会長）

（1） 報告及び協議

【金井館長あいさつ】

本日はお忙しいところ第1回の運営委員会にお越しいただきましてありがとうございます。今年2年目になります館長の金井英男と申します、よろしくお願ひいたします。さて、令和5年度につきましては、当初は感染症対策を講じながら各事業について人数制限をしてまいりましたけれども、ゴールデンウィーク明けから徐々に通常の運営対策に戻しながら業務を行っております。特に今年度は水力発電装置の修理工事やプラネタリウムのプロジェクターの入れ替えなどもありますが、水力発電の方は秋以降になりますし、プラネタリウムの方の入れ替えは3月上旬を予定していますので、2回目以降の運営委員会でご意見をいただければと思っております。本日は令和4年度、5年度の事業について本川補佐と吉澤補佐よりご説明いたします。また議事その他ではさきほど進行からお話があつたように小学校4年生の星座の観察と月の動きという天文教室の一部をご覧いただきます。天文教室は小学校4・6年対象に行っておりますけれども各小学校で指導に困難を感じている領域です。少しでも児童が天体の動きを実感できるように当館で授業を工夫しているところですので、後ほどご意見をいただければと思っております。それから今年度事務局の異動も結構ありましたので、事業報告の前に当館職員の自己紹介をさせていただきます。

・職員自己紹介

金井館長 本川補佐 吉澤補佐 飯塚指導主事 小林指導主事 佐藤副主幹 井上主任

- ① 令和4年度事業報告について（本川補佐・吉澤補佐）
- ② 令和5年度事業概要について（本川補佐・吉澤補佐）
- ③ 令和5年度の運営について（本川補佐・吉澤補佐）

・質問、意見

(西薦会長)	<p>コロナが明けてだいぶ元に戻った部分や機器の更新施設管理もだいぶ進むというお話でしたが、特に何かございませんでしょうか。</p> <p>それではまたご意見は後半の方でいただく事にいたしますので、特に質問出ませんでしたがこの①令和4年度事業報告②令和5年度事業概要③令和5年度事業</p>
--------	---

	<p>運営につきましてみなさまに一括で採決をはかりたいと思います。承認される方は拍手をお願いいたします。(拍手)</p> <p>事務局には今年度も一層魅力のあるような施設の運営にご尽力いただきたいと思いますのでよろしくお願ひしたいと思います。</p>
・承認 拍手多数により承認	
(2) その他 (プラネタリウム学習投影 : T1 小林指導主事 T2 飯塚指導主事)	
○4年生学習投影を議題とした理由	<p>児童の天文に関する興味関心を引き出すことを学習のねらいとしているが、現状では興味関心を高めるだけでなく、教育課程を1時間の中ですべて網羅する学習内容になってしまっている。そのことについて、このままの学習内容で良いかどうか委員の方々にご意見をいただくため。</p>
(意見交換)	
(西薙会長)	まずはプラネタリウムで天文学習をご覧いただきましたので、これについてご意見やご感想を先にお聞きしたいと思います。
(手島委員)	とっても上手で子供たちに寄り添う解説、飯塚さんがそれに合わせて操作をしてタイミングもよくてきっと子供たちも楽しんで見ているんじゃないかなと思いました。前橋の子供は幸せだなと思いました。ありがとうございました。
(西薙会長)	授業といえども本当に楽しくできるというのがとっても良かったと思います。
(小林委員)	まず説明にひきつけられるというか、多分子供たちは自然に星について学べているだろうと、楽しく聞くことができた。実際に今日の夜、星を見てみたい、と思ってもらえる内容で、私もできれば今日も見てみたいなと思った。興味を持たせるのにはもってこいのものなのかなと思いました。
(西薙会長)	星空って見るとどういうふうに見ていいのかわからないけれども、説明で特に一等星のアルクトゥールスとかスピカとか名前が出てくると子供たちはそういうものにも惹かれるのかなと思いました。そういう見方を教えていただいて、とっても良かったと思います。
(間々田委員)	4年生の天文教室は、「ああ1学期にやるんだったな。」そして「夏の大三角だとか、星に興味をもって星空を見だすのかな。」と思いました。天文教室は、今ちょうどやっている最中かと思いますけれども、楽しい試写投影だったと思います。2学期になると6年生の天文教室、内容が変わってくるのでしょうか。15年ほど前に児童文化センターで指導主事をやっていたのですが、天文教室までは手が届かなかった。星座早見はちらっとやりましたが、昔は一般投影の方で自分の趣味のようにプラネタリウムを使っていたような気がします。今日は勉強になりました。ありがとうございました。
(西薙会長)	学校では「めあて」があつてやつてますからね。一般投影の方とはまた楽しみ方

	が違いますね。私から質問ですが、惑星は何年生で扱うのだったでしょうか？
(飯塚)	惑星は中学になって教わります。ここでは星や月の動きをおさえます。学校では何時間かけて行うのですが、プラネタリウムなどの施設がないので、学校でできる4年生の学習内容をすべて網羅しようとこの施設で1時間でやっています。その結果かなり指導も早口になって子供たちの反応を見る時間もないで、それが本当に児童文化センターの学習投影としてあるべき姿なのかどうかというのを考えているところです。6年生についても3年生から6年生までの学習内容すべて45分間に詰め込むことを今やっていますので、相当中身が濃い状態で、それが興味関心を引く天文教室となっているのかどうかと、やっている我々もどちらの方がいいのかなと思っているところです。学校の実情を考えると天文教室は夜でないとできないことなので、学校でできないことを提供しようとこうのような状態になります。子供たちの興味を引くだけなら星空の紹介や解説だけに特化しても、それはそれでいいのかもしれないな、悩んでいるところでもあります。
(西園会長)	よくわかりました。学習指導要領をすべて盛り込もうとすると情報がすごく多くなってしまいますよね。なぜ惑星のことを聞いたかというと子供たちは見たものが実際の空に見えるとすごく印象に残ると思うので、ちょうど三日月の頃って宵の明星うまくリンクして大人でも景色に惹かれる人が多いと思うのですが、そうすると実際に夕方早い時間に三日月と宵の明星のコンビネーションの実物が見られるよ、というのがあるといいのかなとちょっと感じました。
(飯塚)	まさにその通りで、実は惑星では、今西の空に宵の明星、明るい金星が出ているのですが、すごく目立つので今日は惑星をわざとしほって、出していません。今日の夜8時の空には宵の明星で明るい金星が出ているのですが、学習投影の中では明るい金星には触れていないのが実情です。
(西園会長)	実物に見えるものと学習指導要領とのバランスに悩んでおられるのがよくわかります。その辺をまた工夫していただけるといいかと思います。まあやっぱり惑星は目立ちますからね。この前は木星とのコンビネーションも美しかったですね。では、ほかの方も今日ご覧になられていろいろと感想があるかと思います。ここ的一つの売り物はプラネタリウム。実際になかなか学校ではできない学習ができるということでまたご意見をいろんなところでいただければと思います。
	それでは意見交換ということでそれぞれの立場で児童文化センターに関わっておられると思いますのでどういうことでもいいので、一言ずついただければと思います
(天宮委員)	とても心地よかったです。共愛短大の学生の授業で15人くらいで5月の中旬ごろお邪魔させていただきました。外の交通の様子、施設の様子等を見て、19, 20歳の学生が大興奮していました。一番興奮していたのが2階の地図ですね。あの写真に大興奮で、自分の家を見つけて喜んでいました。普段お子さんを連れていいく職員にも聞いてみたら地図の話をしていました。

	19、20歳になってもこういう施設は学びがとても多いのだと思いました。また勉強に来たいと思いました。
(西薦会長)	学生と子供たちが交流できるのもこの施設の魅力ですね。
(岡田委員)	ボランティアは約70名の会員です。中高大学生がいます。多世代交流のように活動させてもらっています。先月竹とんぼ作成のイベントを実施しました。教育振興基金のゆめ基金をいただき実施しました。36名の子ども達、切り出しナイフを使いましたが、一人もけがをすることなく、楽しんで行うことができ、外で飛ばして大喜びでした。準備をしてくれた人たちも大満足でした。一緒にボランティアを募集していますのでよろしくお願ひします。
(西薦会長)	ボランティアも一緒に喜びを感じえることにも価値がありますね。
(小林委員)	宇宙や天文に関した活動をしています。お手伝いをしているときに思うのが、一緒にきた保護者も感動しているということです。星を見ることは感動を呼ぶのだと思ってます。これからも一緒に協力させていただき、感動していきたいと思っています。
(西薦会長)	外部の活動がこのように繋がるといいですね。
(春山委員)	すばらしいプラネタリウムをありがとうございました。まず感じたことは、自分は、全然夜空を見ていないんだな、ということです。昔は星座に興味を持っていたのに、大人になってそういう機会がなくなってしまいました。改めて今日の星座をプラネタリウムで見ると、こんなにあったんだと新しい発見で星座ってロマンチックなんだなと思いました。そういうところに思いを馳せることは大事なんだと思います。
	合唱団のピアノ講師として、今はオーケストラの伴奏として活動しています。平成5年から30年くらいお世話になっています。途中人数が減った時もあったのですが、講師の先生が熱心で今も続けてきています。こういう時代では、少人数化てきて、価値観も違っていますが、大勢の子供が集まって一つの音楽を作るという機会が減ってきてるので、ここの活動は無くてはならないものだと思っています。これからもずっと続けてほしい活動であってほしいなと思っていますので、今後も微力ながら応援したいと思っています。
(西薦会長)	大勢でやる活動、ぜひがんばってほしいということですね。
(間々田委員)	市内公立3園の代表として委員をさせていただくことになりました。幼稚園は特に歩行教室で正しい歩き方の勉強をやっていただき、大変助かっています。年長は次の年、自分の足で学校に通う、それを考えると就学前の子供たちにとってとてもありがたい、大切なことを学べる施設だと思っています。ほかにも私立の幼稚園・保育所・こども園など90を超える園所があります。その中で32園所を受け入れていただいているのはとてもありがたいことで、ぜひこれからも安全教育を行っていただきたいと感じています。
	ここは親子で一緒に来ることが多い施設だと思います。公園の施設も整備され

	ていて、親子の憩いの場になっていると思うので、今子供たちも少なくなっている中で、いろいろな園所の情報が手に入る場所であってもいいのかなと思います。かなり多くの子が、この施設に来るのを楽しみにしていると思います。
(西薦会長)	就学前に安全教室ができる場所はそうはないですよね。市内の小学校に進むわけですから就学前に歩行教室ができるのはとても重要ですね。
(林委員)	PTA 連合会から関わらせてもらっています。就学前は親子で一緒に来たのですが、小学生になると学校で利用することが多くなり、私も話を聞く程度になりました。子供たちはとても楽しかった、と帰ってきます。今日体験させてもらって自分自身も楽しいことがわかつて、興味をもつことができたので、子供たちが体験していることを親も知ることができたのがよかったです。学校でこんなことをしてきた、というのを知り、親も一緒に楽しめる施設があるのを知ることができるといいなと思いました。小学生になっても一緒に来て楽しもうと思えたので、ほかの保護者にも広めていけるといいなと思いました。
(西薦会長)	お子さんと一緒に楽しんだりするのもいいですね。ぜひ広めてください。ボランティアとして参加していただくのでもいいですね。スタッフの人がいろいろ用意してくれているのがいいですね。
(大島委員)	中川地区の自治会長をやってますので、このエリアの代表のような感じです。自分の子ども、孫が小さい時からくるおなじみのところです。駐車場もよくなったりし、いろいろな意味で憩いの場になっていると思います。プラネタリウムも何十年ぶりに久々に見ましたが、こういうふうに記憶に残ってるのかなと思いました。中学生は忙しくてあまり来る機会がないが、小学校から記憶に残る体験をしてもらえるとよいと思います。今後も発展することを祈っています。
(渡邊委員)	本日はプラネタリウム、以前も見ましたが2回とも感動しています。プラネタリウムのチラシ、月ごとに書かれていて・・・すごいと思いました。全部もらいたいくらいでした。また来月が出るそうなので、みなさんももらっていたほうがいいんじゃないかなと思います。私どもは前橋の育成団体連絡協議会といい、子ども会をバックアップする団体で活動しています。子供たちのコミュニケーション能力が落ちているな、と感じています。コロナのせいでどうけれど、学校が休みになったりとか、タブレットでの学習など増え、一つのテーマに対してみんなで話し合うことが減ったように思います。今後は増やしていけるように考えていくといいと思います。この施設で行っていることは、私たちも勉強になりました。
(西薦会長)	コミュニケーション力育成の場としてもとても重要ですね。
(手島委員)	市内46校すべての小学校がお世話になっています。子供たちがとても楽しかったと目をキラキラさせて言ってくれるのが嬉しいです。交通教室もあり、私が校長になってから交通事故もなくここまで来ています。天文も難しい部分だが、児童文化センターがあるおかげで教員の方も研修になって指導いただいてる、そんな状況です。内容についても悩んでいるようですが、これからもお願いできれば

	<p>と思います。</p> <p>5年生の環境教室、前橋は環境宣言都市ですのでその一つの大きな内容ですし、さらには林間学校での補助金まで出していただき、講師まで派遣してくれるということで小学生にとってはここは無くてはならないところです。バスで送り迎えまでしてくれて、本当にありがたいな、といつも感謝しております。コロナが収まっていよいよフルサイズ100人でプラネタリウムができる嬉しいと思って聞いていました。金井館長を中心にいろいろな工夫があつて素晴らしいと思います。日時計はみかげ石でできていて、すごく立派なものがありますけれど、となりに噴水があつてすべるのですが、今日見たら柵がしっかりできていたりとか、からくり時計でいろんな曲が流れるのですが、その曲目が全部紹介されていて貼ってあつたりしました。このように本当に細かいところまで、館を充実させるために職員のみなさんが頑張っている姿が見えて、頭が下がる思いです。私が指導主事でいたときに一番悩んだのはプラネタリウムをフルサイズでやっていた時で、駐車場の問題だったんですね。これからまたどんどん人が来る中で、駐車場も大変だと思うんですが、いつでも応援させていただきます。本日はありがとうございました。</p> <p>(荒井委員)</p> <p>事業説明の中でサポートスタッフという文言があつたんですけど、サポートスタッフは大学生が多いのでしょうか。できれば昨年も申し上げましたけれど、中高生も入れてもらえると嬉しいです。先ほど岡田委員さんの話にもありましたけれど、五中地区もボランティアが盛んで中ボラと言つて、今年度から全面再開しましたので、児童文化センターで募集してくれるとありがたいので、ぜひお願ひします。</p> <p>(西薦会長)</p> <p>大学生がリーダーになって中学生が中間でそういう感じで働いてくれると、とても勉強になるんですよね そういうシステムができると良いですね。 ほかに追加ありますか。</p> <p>(岡田委員)</p> <p>ボラの会も青年部があります。そこが中心になって指導していく組織もありますので、ぜひ受け入れたいと思います。</p> <p>(西薦会長)</p> <p>いろんな世代の交流の場として貴重ですね。親御さんも参加したいというお話もありましたので、そのような機能も充実させたいですね。</p> <p>(金井次長)</p> <p>今まですばらしい施設だと感じていました。高崎の友達の教員を呼んで紹介したところ、前橋の土日でけやきウォークの次に人がいるんじゃないの、と本気で言っていました。それくらい大人も子供も楽しんで充実した活動をしているんだとすごく感じました。</p> <p>これから大事なんだろうなと思うのは、ICTとか進んでいく中で、生の実体験が大切になってくる。それを児童文化センターのみなさんが担つていると感じました。これから教育の中でさらに光が当たつてくるところなんだと思い、感謝したいです。今もすばらしい活動をして発信しているので、時代がどんどん変わってSNSだったりいろいろなところで保護者の方が知つたりするので、発信の仕方を工夫してさらに素晴らしい活動を発信していくといいなと思いました。</p>
--	--

(吉川教育長)	<p>館の魅力は、施設もありますけれども、ここを支える人の熱、子供たちのためにがんばる人々の熱の素晴らしさが魅力なんだと思っています。土日も開館すれば土日も支えなければならない、自分の時間を費やしてでもボランティアのスタッフも館のスタッフも一生懸命支えてくださっています。最初に2階の地図の件、群馬県庁の1階で地図を展示した時に、私は地理学科、地理の専攻なのですが、捨ててしまうのはもったいないのでという話をいただきまして、前館長の関口館長の時にこちらの2階においたものです。子供も見るし大人も見るし、それを学びにつなげたいというスタッフの思いがいつもあるな、と思っています。子供たちの声もフィードバックしながらよりよい児童文化センターになっていくといなと思いました。ありがとうございました。</p>
(西薙会長)	<p>委員のみなさんから貴重なご意見をいただきました。ぜひ我々委員もこの児童文化センターを応援していきたいと思いますので、これからもよろしくお願いいいたします。事務局の皆さんには委員から出たいろいろな意見をぜひ生かしていただいて、よりよい施設運営をしていただければと思いますので、よろしくお願いいいたします。</p>
6. 閉会	